

成果指標				
成果指標	市税収納率			
指標設定の考え方	自主財源確保の観点から、現年分・滞納繰越分を併せた収納率を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	0.955	0.955	0.955	0
実 績	0.9571	0.9602	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>税負担の公平性を保ち、納税者からの信頼を高めるとともに税収を図るため、滞納者個々の滞納原因等の状況を把握して納付指導を強化するとともに、税収確保重点期間を設けるなどして、徹底した財産調査及び積極的な滞納処分の実施を継続する必要がある。また、納税者の利便性と収納率・納期内納付率の向上を図るため、口座振替制度を一層推進するとともに、平成28年10月からのコンビニ収納の本格稼働にむけてシステム環境整備等の準備を進めている。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>税の公平性を確保することは最も重要なことであり、その中で、収納率が向上していることは、徹底した滞納処分が継続されていることによると思われる。28年10月からはコンビニ収納が始まり納税の環境整備も進むことから、今後も徹底した滞納整理を継続しなければならない。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題